

今月の一枚

ペルセウス座 流星群の流星



毎年数多くの流星を見ることができるペルセウス座流星群。今年は13日(金)4時ごろに極大を迎えます。ペルセウス座流星群の流星は、スィフト・タートル彗星がまき散らした小さなチリが素になっています。

8月の天文現象

- 2日(月) 土星がやぎ座で衝しょう
- 11日(水) 細い月と金星が接近
- 13日(金) ペルセウス座流星群が極大きょくたい
- 14日(土) 伝統的七夕
- 20日(金) 木星がやぎ座で衝しょう

太陽と月の出・入

	日の出	日の入	月の出	月の入	月の状態
1日	4:14	18:58	22:56	12:45	8日 新月 ●
10日	4:25	18:46	5:43	20:00	16日 上弦 ◐
20日	4:36	18:30	17:30	1:17	22日 満月 ●
31日	4:49	18:11	22:28	13:41	30日 下弦 ◑

8月の休館日とピリカ望遠鏡公開日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12*	13*	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	★12日(木)、13日(金)は24:00まで延長開館します。			

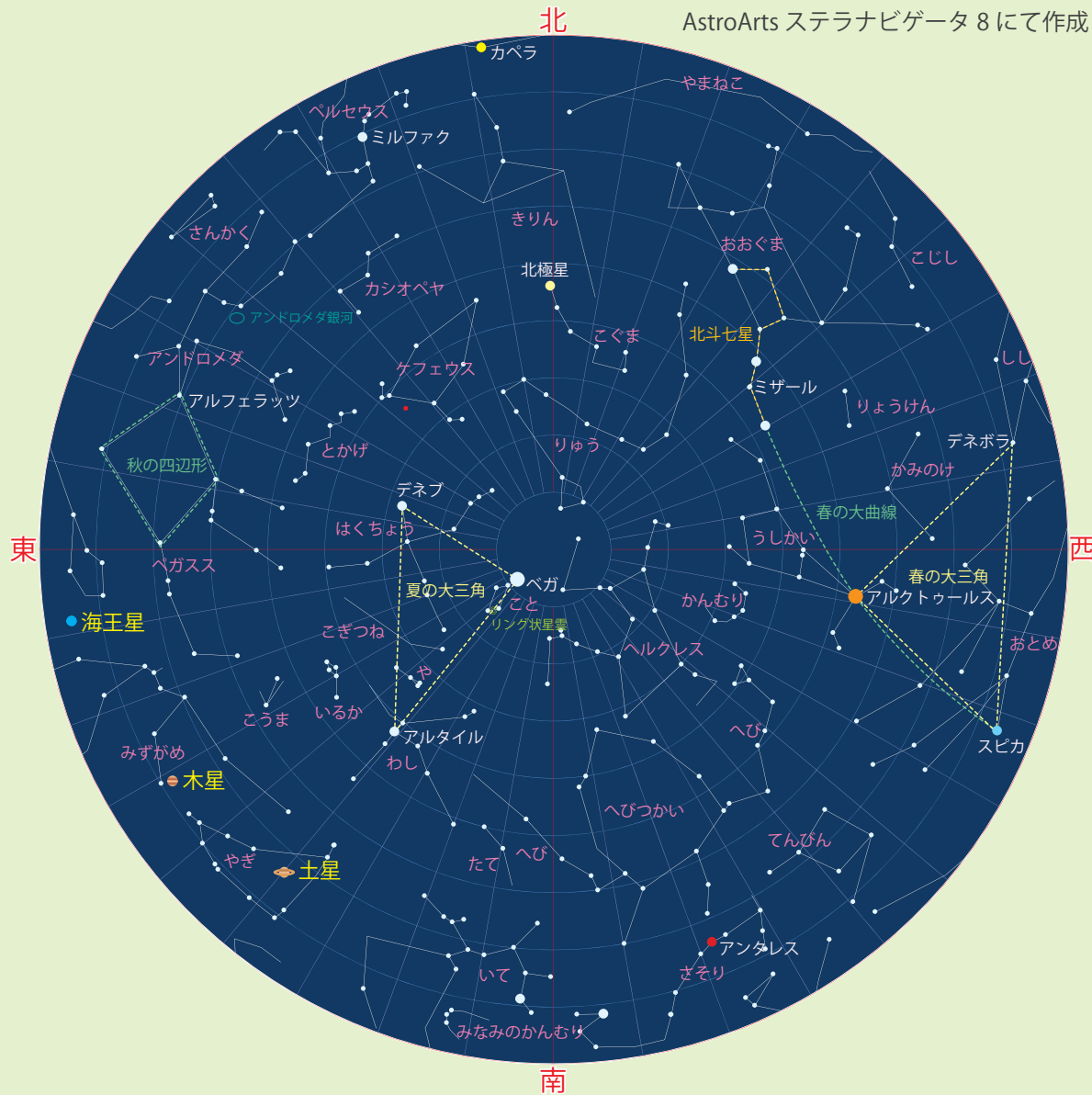
開館時間は13:00～21:30(最終入館時刻は21:00)

休館日 休館日 望遠鏡公開日

新型コロナウイルス感染症対策のため、望遠鏡の見学・観望会、プラネタリウムの観望、イベントは当面、予約制とします。また、望遠鏡の見学・観望会やプラネタリウムの投影、イベントなどは中止や延期となることもあります。最新の情報はWebページまたは、お電話でご確認ください。

2021年8月15日20時名寄市の空

AstroArts ステラナビゲータ 8 にて作成



宵の空高くに、天の川が輝く8月。今年の伝統的七夕は14日です。七夕の行事はもともと、旧暦の7月7日に行われていました。現在の暦の7月7日は、日本の多くの地域で梅雨のさ中であり、星空を見ることが難しい時期です。そこで、旧暦の7月7日に近い日を伝統的七夕として、国立天文台が2001年から独自に定義し、広く報じています。

惑星情報

水星(中旬から)、金星は昼間に、木星(中旬から)、土星は夜に見ることができます。



AstroArts ステラナビゲータ 10 にて作成

イベント情報

★天文イベント

★ペルセウス座流星群観望会

三大流星群の一つ、たくさんの流れ星が見られるかも!?

日時 8月12日(木)、13日(金) 20:00～24:00

料金 観覧料のみ

申込・定員 事前申込必須

- ・受付期間は8月1日(日)から。定員に達し次第、受付を終了します。
- ・申込方法は受付期間中の13:00～20:00に、天文台へお電話ください。
- ・申込の際は、以下からご希望の時間帯をお選びください。

- ① 20:00～20:50 定員:15名
- ② 21:00～21:50 定員:15名
- ③ 22:00～24:00 定員:20名

8月12日(木)、13日(金)は、通常の観望会も24:00まで開催します!

- ・通常の観望会も事前申し込み必須です。
- ・ペルセウス座流星群観望会の参加者は、通常の観望会への参加はできません。